

お知らせ



□第4回 未来をのぞく住宅展
ASJ 石巻スタジオ
宮城県石巻市蛇田字新谷地前 126-2
5/28(土) 10:30～18:00 入場無料
5/29(日) 10:30～18:00 入場無料

□第37回 未来をのぞく住宅展
ASJ 秋田スタジオ
フォンテ AKITA 7階催事場
秋田県秋田市 中通2丁目8-1
6/18(土) 11:00～18:00 入場無料
6/19(日) 10:00～18:00 入場無料

イベント開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成
株式会社 加藤一成建築設計事務所
仙台オフィス
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932
秋田オフィス
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316
HP: <http://www.issei-design.com/>
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>
Mail: info@issei-design.com



子世帯 LDK。キッチンの背面は全壁面収納。上部はキャットウォークと吹抜け。



親世帯の LDK と寝室。仕切りの建具を収納すると一体で使用可能。



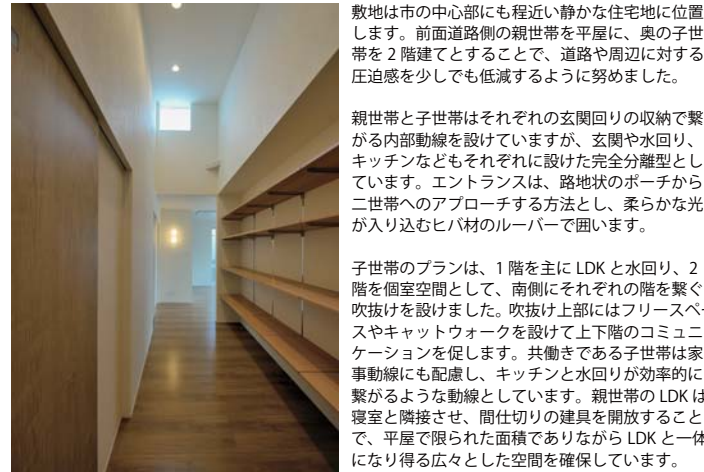
2階フリースペースと吹抜け上のデスク。



子世帯玄関。造作の玄関収納が並ぶ。



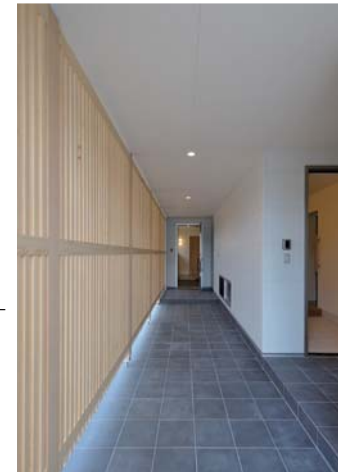
ダイニングからリビングを見る。小上りの4.5帖の和室はリビングと一体で使用可能。親世帯通路。サイドライトから光を導く。



敷地は市の中心部にも程近い静かな住宅地に位置します。前面道路側の親世帯を平屋に、奥の子世帯を2階建てとすることで、道路や周辺に対する圧迫感を少しでも低減するように努めました。

親世帯と子世帯はそれぞれの玄関回りの収納が繋がる内部動線を設けていますが、玄関や水回り、キッチンなどもそれぞれに設けた完全分離型としています。エントランスは、路地状のポーチから二世帯へのアプローチする方法とし、柔らかな光が入り込むヒバ材のルーバーで囲います。

子世帯のプランは、1階を主に LDK と水回り、2階を個室空間として、南側にそれぞれの階を繋ぐ吹抜けを設けました。吹抜け上部にはフリースペースやキャットウォークを設けて上下階のコミュニケーションを促します。共働きである子世帯は家事動線にも配慮し、キッチンと水回りが効率的に繋がるような動線としています。親世帯の LDK は寝室と隣接させ、間仕切りの建具を開放することで、平屋に限られた面積でありながら LDK と一体になり得る広々とした空間を確保しています。



二世帯を繋ぐ路地状のアプローチ。

■特集 "能代の二世帯住宅"

秋田県能代市に建つ、親世帯平屋・子世帯2階建ての、並列型・完全分離型の二世帯住宅です。

>> 念願のお花見

皆様こんにちは、小野です。4月中旬は念願のお花見ができました！毎年千秋公園の桜まつりで、お友達がステージでショーをしているので、それを見ながら食べては飲んでいました(笑) 昨年は肌寒かったですが、今年は本当にいい天気で暑いくらいでした。外で飲む冷えたビールはやっぱり美味しかったです(笑) それにしても、人沢山いましたね。さて、前回のニュースレターで紹介しましたアパートのリノベーションプロジェクトですが、現場は慌ただしく作業が進んでおります。杉足場板を多く使っているのですが、WOODPRO の [T-5C-180-鉄サビなめらか] の足場板がやっと到着しました。使い込まれた味のある古材(風)の雰囲気は素敵です。キッチンに張ります。ピフォーアフターは後程お知らせできると思いますので楽しみに！



>> 白岩焼 和兵衛窯 渡邊葵

秋田を代表する焼き物といえば、白岩焼ですな〜、という私山崎もお恥ずかしい話ですが、ほんの数年前まで白岩焼の存在を知らませんでした(汗)。今回は秋田出身の若い女性作家さん、渡邊葵さんの白岩焼作品を見に行く機会がありましたので、ご紹介いたします。秋田県に江戸時代から伝わる白岩焼は、深く青く鋭光する「海鼠釉(なまこゆう)」に特徴があります。渡邊さんは伝統を大切にしながら現代の美意識に合うものを、また地元の原料にこだわり、登り窯、灯油窯でひとつひとつの作品を丁寧に作っていらっしゃるそうです。実物を拝見して白岩焼の独特な風合いに一目惚れしました。自宅に気兼ねなく焼き物を楽しみたい方にはもちろん、ちょっとしたプレゼントにも喜ばれそうな毎日に寄り添う焼き物たちでした。素敵なものに囲まれて暮らしていると日々の暮らしもちょっと豊かなものになりますね〜。



>> 編集後記

みなさん、こんにちは。
まずは、この度の平成 28 年熊本地震により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。比較的築年数の新しい住宅にも多くの被害が出ているようで、住宅の設計者として心が痛みます。被災された皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
さて、今回の特集「能代の二世帯住宅」はいかがでしたでしょうか？こちらにも二世帯住宅の考え方を載せておりますが、東日本大震災以降、二世帯住宅のご相談も増えているように感じます。一時期、『核家族』や『DINKS』などという言葉も日常的に使用され、多世代で住む事は過去の事になったような風潮もありました。しかし、今再び家族間の絆や世代を超えてのいたわりや愛情が再認識され、共に住む形が注目されているように思います。日本の住宅の本来の姿である、多世代で住むことのよさを再認識していただく事は嬉しい事です。敷地やご予算を有効に使用するという意味からも、今後多くなっていく傾向ではないかと思えます。二世帯(多世代)住宅とリフォーム・リノベーション、これらがこれからの住宅に関する重要なキーワードであることは間違いないと考えられます。
最後までお読みいただきましてありがとうございます。それでは次回もどうぞお楽しみに。



市役所の新庁舎が完成しました。目新しい庁舎に目が行きがちですが、間もなく解体される旧庁舎こそ、記憶に止めておきたいですね。この風景が見られるのもあと少し。